

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	公園の整備			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の主担当課名	都市政策課
	基本施策	インフラ整備プロジェクト	関係課名	基地対策室・地域福祉課
	施策コード	A-1-3		

① 施策の現状と課題	<p>公園は、心身をいやし、健康を増進させ、市民が身近に楽しめる多様なレクリエーションや自然とのふれあいの場として、また、良好な景観や野生生物の生息・生育環境を形成する場として、自然と人、人と人、人と地域などの関係性を回復、向上させる機能を有しています。また、災害発生時には避難地や避難路、防災拠点となるなど、都市や地域の防災性の向上に大きな役割を担っています。</p> <p>本市の都市公園は、現在、31箇所、27.79haで、人口1人当たりの面積は3.93㎡/人であり、福岡県平均8.35㎡と比較して整備が遅れているのが現状です。この中、行橋総合公園は計画面積21.3haのうち約8割に当たる17.33haを供用開始しており、今後も引き続きサッカーグラウンド等の整備に向け計画的かつ着実な整備を推進していかねばなりません。</p> <p>御所ヶ谷史跡自然公園は、これまでに山麓の住吉池周辺の親水公園や駐車場が整備されました。今後は整備基本設計に基づき、国の史跡エリアを中心に史跡と自然に触れ合う公園として整備していく必要があります。</p> <p>また市内には現在約160箇所の児童遊園があり、開発行為により年々増加しています。維持管理については地域の住民に行っているところですが、園内の遊具の維持管理については専門的な知識が必要であり、公園の全般的な維持管理を地域の住民だけに求めることは難しい状況です。しかも、市内の児童遊園のほとんどが設置から相当の期間が経過しており、今後児童遊園内の遊具の老朽化が進むことが想定されます。</p> <p>一方で、各地域における中央公園的な機能をもった公園の設置についての市民ニーズもあります。また、市街地内及びその周辺地域では特に公園・緑地が不足していることから、河川や神社境内の活用等によるうるおい空間の拡充を望む市民ニーズもあります。今後、各地域の実情やニーズに応じて、多様な公園・緑地帯の設置などの検討を行っていく必要があります。</p>
② 施策の基本方針	<p>市民の身近な憩いやレクリエーションの場や災害時の一時避難場所として機能の充実を図るとともに、誰もが安全安心に利用できるようバリアフリー化の進んだ公園整備と維持管理に努めます。また公園に対する市民ニーズは、ますます増大、多様化すると予想されるので市民の意向を反映しながら、地域の特性に即した整備を計画的に推進していきます。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p><b>主要施策名(1)</b> 公園・緑地の計画的整備</p> <p>自然環境教育の場及び地域コミュニティや交流イベント、運動の場を提供するとともに、精神的なリフレッシュ効果、健康増進効果を図るため、既存公園の配置状況等も勘案し、適地に新しい公園・緑地の整備を推進します。</p>
	<p><b>主要施策名(2)</b> 身近な公園の安全管理</p> <p>市内に点在している児童遊園については、地域住民の身近な憩いの場として安心して活用できるよう巡回を行い、公園内の遊具や工作物の安全管理に努めます。また、専門業者による遊具の安全点検を行い、危険器具の把握に努めます。</p>
	<p><b>主要施策名(3)</b> 都市公園・総合公園の機能拡充</p> <p>既存の都市公園については、高齢者や障がい者、子どもたちが安全安心に利用できるよう公園機能を充実します。また、行橋総合公園については市民ニーズを踏まえて引き続き整備を進めるとともに、市民に利用しやすい施設となるよう管理運営・アクセス面で工夫していきます。</p>
	<p><b>主要施策名(4)</b> 河川や海辺を生かした公園の整備</p> <p>今川や長井浜などの水辺については貴重な水辺空間として親水性に富んだ公園の整備を進めます。</p>
	<p><b>主要施策名(5)</b> 市民参加による公園づくりと管理</p> <p>公園等の整備に当たっては、計画策定段階から市民が参加し、市民の自主性、主体的な関わりによる公園づくりに努めます。また、公園の適切な維持管理を図るため、市民ボランティアによる清掃等の積極的な参加を促進します。</p>
	<p><b>主要施策名(6)</b> 公園維持管理業務の窓口の一元化に向けての取組み</p> <p>市民サービスの観点から見て公園の維持管理についての窓口の一元化は必要です。関係部署と協議し公園の維持管理業務の一元化への検討を行います。</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績			評価年度	目標値			達成度の説明 (H25年度)
	公園内での事故の件数(件)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	評価期間内での事故は発生なし 今後もゼロ目標
		0	0	0	0	0	0	0	
	身近な公園の整備状況に関する市民満足度(%)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	アンケート調査による市民満足度のため取得困難
		25.8	-	-	-	-	-	50.0	
一人当たりの都市公園の整備面積(㎡)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	平成27年度に総合公園の全園整備を目指し計画的に整備を行う	
	3.52	3.70	3.76	3.79	3.95	4.20	4.20		
	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		
	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		

⑤ 施策構成 事務事業	事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位	
			H24年度実績値	H25年度実績値	H26年度見込額		
	1	松原展望台広場管理事業	松原展望公園の管理委託及び巡回	1,750	2,100	2,100	5
	2	児童遊園施設管理事業	公園内の適切な整備を行う(遊具安全点検・遊具補修等)	3,705	3,770	3,868	4
	3	児童遊園施設補修事業	危険遊具の撤去、遊具の新設	2,037	3,182	5,093	7
	4	都市公園施設管理事業	都市公園の樹木、公衆便所等施設維持管理	8,106	9,944	10,774	3
	5	都市公園補修事業	都市公園の遊具等施設補修	1,299	1,155	1,158	6
	6	総合公園管理事業	総合公園の樹木、公衆便所等施設維持管理(指定管理)	21,764	22,317	22,978	2
	7	総合公園補修事業	総合公園の遊具等施設補修	1,222	1,060	0	8
	8	総合公園整備事業	総合公園の国庫交付金事業による整備	131,028	106,847	106,940	1
	9						
	10						
	11						
	12						
13							
14							

⑥ 施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)	<p>安心・安全に利用できるバリアフリー化の進んだ公園整備のニーズがあることから、今後は「公園施設長寿命化事業」並びに「緑の基本計画の見直し」等を行い、市民の意向を反映しながら、地域の特性を生かした整備を計画的に推進する。</p>
---------------------------------	---

⑦ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	<p>総合公園整備は順調に行っているが、その利用率や満足度などの市民ニーズの把握もしっかりとしてほしい。また、都市公園や児童遊園を含め、安全な管理と長寿命化を推進するためにも、公園を一元的に、かつ中長期的な計画の下、管理する担当課の設置を望む。その中で、地域毎に災害時の用途も考慮した中規模な公園等の整備をバランスよく実施してもらいたい。</p> <p>また、施策の中で市民参加による公園づくりや管理とあるが、そのボランティアの育成にまずもって取り組んでもらいたい。</p> <p>なお、市街地における公園緑地が不足しているため、既成市街地内緑地、公園の整備に特に配慮が必要である。</p>
--------------------------	---

⑧ 施策に対する市の最終方針	<p>都市公園と児童遊園の一元管理を実施する担当部署の設置を進めていく。その中で、安心・安全に利用できるバリアフリー化の進んだ公園という市民ニーズに対して、「公園施設長寿命化計画」及び「緑の基本計画」に基づき、一定基準の安全管理の実施を進めていく。これまでも公園の清掃等、市民ボランティアによる活動は行われてきたが、今後も積極的な参加を継続してもらえよう働きかけていく。</p> <p>市街地における公園緑地の不足に関しては、「緑の基本計画」の見直しを行い、地域特性を生かした整備に努める。</p>
-------------------	---